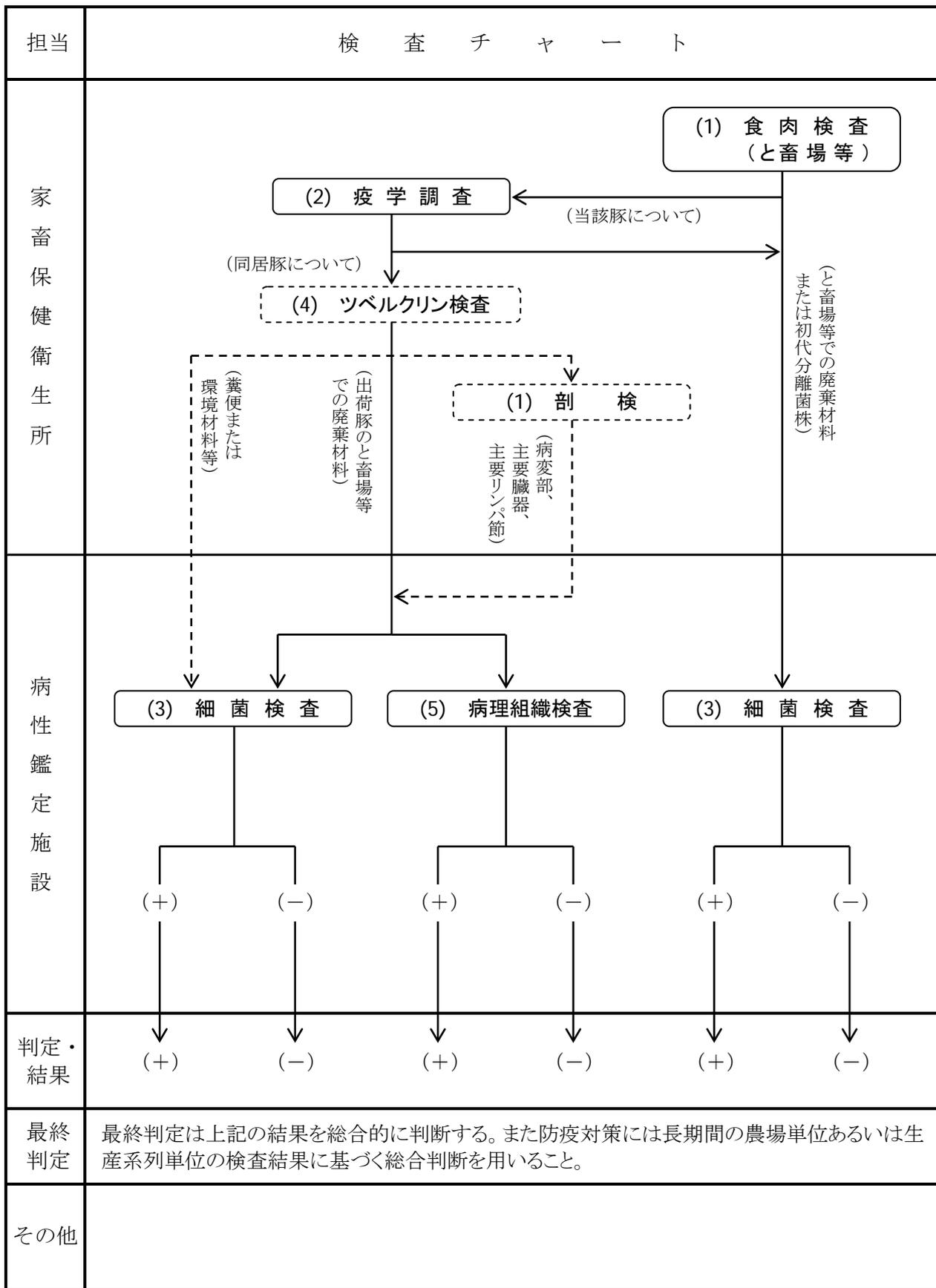


97 豚抗酸菌症



→類似疾病検査

- ① 94 豚トウルエペレラ(アルカノバクテリウム)・ピオゲネス感染症 ② 豚の結核病

○ 病原体: *Mycobacterium avium*

(1) 食肉検査または剖検

顎下リンパ節、咽背リンパ節、腸リンパ節、希に肝、肺における黄白色(結核様)結節ないし膿瘍性病巣。これによる出荷豚の内臓廃棄率上昇

(2) 疫学調査

- ① 出荷豚の内臓廃棄率の変化および高率摘発時期等と関連する関連する因子の検索(出荷ロット、母豚群、畜舎、飼養形態など)
- ② 本病の発生のあった農場から豚を導入したことがある。過去に本病の発生があった。
- ③ 飼養形態(特に敷料を変えたか)、飼料、資材の種類と入手経路等

(3) 細菌検査

(糞便、扁桃部ぬぐい液または環境材料等:夾雑菌を高率に含有する材料)

- ① アクリフラビンまたは水酸化ナトリウムで処理した糞便を使用し、グリセリン加 1%小川培地を用いて 37℃で 1 ヶ月間分離培養を行う。
またはヨーネ病糞便培養検査を準用する。
- ② 白・象牙色から砥粉色の S 型または R 型の集落を形成する(長期培養で赤味あるいは黄色味が増す)。
(臓器、リンパ節等:夾雑菌含有の可能性の低い材料)
- ① 水酸化ナトリウムで処理した主要リンパ節を使用し、グリセリン加 1%小川培地を用いて 37℃で 1 ヶ月間分離培養を行う。またはヨーネ病臓器培養検査を準用する。
- ② 白・象牙色から砥粉色の S 型または R 型の集落を形成する(長期培養で赤味あるいは黄色味が増す)。

(分離菌の性状検査)

培養性状検査(次頁参照)あるいは分子生物学的性状検査(遺伝子挿入配列 *IS901* の挿入標的配列の有無または VNTR 型プロファイルの決定)^{1), 2), 3), 4)}

市販キット

DDH マイコバクテリア(極東製薬)

アキュプローブ(極東製薬)

(4) ツベルクリン検査

60 日齢以上の豚の耳翼に鳥型ツベルクリン(動物衛生研究所)を接種し、48~72 時間後に腫脹差を測定して判定する。

(5) 病理組織検査

- ① ラングハンス巨細胞を混じえる類上皮細胞の増殖(肉芽腫)
- ② 乾酪壊死と石灰化
- ③ Ziehl-Neelsen 染色により肉芽腫内に抗酸菌を認める。

(参考文献)

- ・根本 久: 家畜伝染病の診断(家畜衛生試験場技術者集談会編). 557-575、文永堂、東京(1973).
- ・横溝祐一: 豚病学(柏崎 守ら編)、第 4 版. 306-310、近代出版、東京(1999).
- 1) 家畜衛生研究成果情報. 10, 5-6 (1997).
- 2) 斉藤 肇ら: 臨床検査. 26, 1539-1544 (1982).
- 3) 動物衛生研究成果情報. 6, 11-12 (2007).
- 4) 吉田志緒美ら: Kekkaku. 84, 15-21 (2009).

(培養性状検査 2)

	小川培地上の性状							生化学的性状						
	増殖				集落									
	温度(°C)			速度	S型またはR型	着色		A	B	C	D	E	F	G
28	37	45	可視集落出現までの期間(週)	暗所		照射後								
<i>M. tuberculosis</i>	-	+	-	2~3	R	-	-	-	-	-	-	+	+	+
<i>M. bovis</i>	-	+	-	3~5	S(R)	-	-	-	-	-	-	+	-	-
<i>M. scrofulaceum</i>	+	+	-	2~3	S	橙	橙	-	-	-	(+)	-	-	-
<i>M. kansasii</i>				2~3	RS	-	黄	-	-	+	+	+	-	-
<i>M. avium</i>	+	+	+	2~3	S	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<i>M. intracellulare</i>	+	+	(-)	2~3	S	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<i>M. fortuitum</i>	+	+	-	<3日	R(S)	-	-	(+)	+	+		+	+	-

()は90~70%の菌株が示す性状、RSはRとSの中間型、集落のS(R)はときどきR型、R(S)はときどきS型を示すもの。表中空欄の性状は検査実施の必要なし。

A: PAS分解、B: ピクリン酸培地、C: アリルスルファターゼ(3日法)、D: Tween 80水解、E: ウレアーゼ、F: 硝酸塩還元、G: ナイアシン